

東京国立博物館 ニュース

2015 **2-3**

展示と催し物案内
第729号

2-3 ❁ 「博物館でお花見を」 / 4 ❁ 特別展「みちのくの仏像」 / 5 ❁ 特別展「3.11 大津波と文化財の再生」
6 ❁ 特別展「コルカタ・インド博物館所蔵 インドの仏 仏教美術の源流」 特別展「鳥獣戯画—京都 高山寺の至宝—」
7 ❁ 国宝 檜図屏風 / 8-11 ❁ 総合文化展 / 12-13 ❁ みどりのライオン 教育普及事業
13 ❁ 保存と修理情報② / 14-15 ❁ イベント&インフォメーション / 16 ❁ 2015年2月・3月の展示・催し物



「博物館でお花見を」
トーハクで春を先取り!



春です！今年もやります恒例企画！！

博物館でお花見

桜の名品の数々をご覧いただくとともに、スタンプラリーや桜ギャラリートークなどのイベントも開催する春の一大企画です。

当館自慢の庭園では、10種類以上の桜をお楽しみいただけます。まさに桜・桜・桜づくし！博物館ならではのお花見にお出かけください。

3月23日(月)・30日(月)は特別開館だほ！



3月17日(火) | 4月12日(日)

楽しいイベントも満開です！！

*特記以外はすべて参加無料(ただし、当日の入館料が必要)、事前申込み不要です。

▼スタンプラリー

展示室をめぐってスタンプを集めてください。スタンプを5つ集めた方には、オリジナルバッジをプレゼント！「博物館でお花見を」期間中、毎日開催します。台紙の配布・バッジの引換え場所：本館玄関(バッジの引換えは10:00〜閉館時間)

▼東博句会「花見て一句」

庭園や作品の桜を愛でながら一句詠んでみませんか？ご応募は構内の投句ポストまで。入選作品は本誌8・9月号、当館ウェブサイトに発表、記念品を贈呈します。「博物館でお花見を」期間中、毎日受付。

▼桜ワークショップ「春らんまん 桜ぬりえ」

桜をモチーフにした作品のぬり絵です。展示室にある作品の色づかいにも注目してみてください。日時：3月28日(土)・29日(日)、4月4日(土)・5日(日) 各日11:00〜16:00 ※ただし、ぬり絵シートがなくなり次第終了。会場：本館2階ラウンジ

▼桜ファミリアワークショップ「ふれて納得！茶の湯の茶碗」

桜咲く庭園の茶室で、いろいろな茶碗にふれて、お茶を飲んでみましょう。展示室にある茶碗の見方が変わるかも!?日時：3月21日(土・祝) ①10:00〜12:00 ②15:00〜17:00 定員：①②ともに10組(事前申込制、応募者多数の場合は抽選) *詳細は本誌13ページ参照。

▼ポランテアによるアートスタジオ「桜の根付作り」

展示室で根付を見学した後、桜をテーマにオリジナルの根付を制作します。日時：3月22日(日) 13:30〜15:30 対象：高校生以上 定員：20名程度(事前申込制、応募者多数の場合は抽選) *詳細は本誌13ページ参照。

▼桜ギャラリートーク

「屏風に描かれた桜」日時：3月18日(水) 14:00〜14:30 講師：小野真由美(貸与特別観覧室主任研究員) 会場：本館7室

▼着物に描かれた桜

日時：3月25日(水) 14:00〜14:30 講師：小山弓弦葉(教育普及室長) 会場：本館地下みどりのライオン(教育普及スペース)

▼国玉花下遊楽図屏風について

日時：3月31日(火) 14:00〜14:30 講師：田沢裕資(絵画・彫刻室長) 会場：本館地下みどりのライオン(教育普及スペース)

▼桜からつくられた仏像

日時：4月1日(水) 14:00〜14:30 講師：浅瀬毅(教育講座室長) 会場：本館11室

▼今日はお釈迦様の誕生日 摩耶夫人像のお話

日時：4月8日(水) 14:00〜14:30 講師：三田覚之(工芸室研究員) 会場：法隆寺宝物館第2室

▼トータルに満開の桜、鑑賞ガイド

桜作品の見どころをダイジェストでご紹介します。



吉野山図屏風(部分)
よしのやまずびょうぶ
渡辺始興筆
江戸時代・18世紀 個人蔵
展示期間：3月10日(火)〜4月19日(日)
折り重なって咲く吉野山の桜。尾形光琳の影響を受けた雅な屏風です

本館7室
桜を描いた屏風が、展示室を艶やかに彩るでしょう。

花下遊楽図屏風
かかゆうらくずびょうぶ
狩野長信筆
江戸時代・17世紀
展示期間：3月17日(火)〜4月12日(日)
春の野辺で遊ぶ女性たち。右隻の中央部分は関東大震災で失われました

本館2室(国宝室)
当館が誇る名品の花の下で、盛大な宴会が催されるでしょう。

開花予想

本館では選りすぐりの桜の名品を展示します。さて、どの展示室でお花見をしましょうか？本誌8-9ページもご参照ください。



東北の仏像はココがおもしろい!!

みちのくの 仏像の

特別展

東北地方には魅力的な仏像が多く伝わります。今号では、特に「東北らしさ」がよく表われている作品を、展覧会を担当する丸山研究員がセレクト。その見どころをご紹介します。

本館
特別5室

1月14日(水)

4月5日(日)



ノミ跡に 注目!

重文
天台寺の
聖観音菩薩立像

平安時代・11世紀 岩手・天台寺蔵

ノミで彫った跡を残す表現を鉋彫り^{なた}といいます。関東から東北地方に多くみられ、おもに平安時代後期につくられました。その中でも、これほどはっきりと規則的にノミ目が表わされて、緊張感がたどよう像はありません。普通の像にはない、東北の人々の美意識によってつくられたのです。

円空仏に 注目!

龍泉寺の
十一面観音菩薩立像

江戸時代・17世紀 秋田・龍泉寺蔵
画像提供:朝日新聞社

円空は仏像の製作を始めて間もない頃に東北を巡ります。東北の円空仏は表面を平らに整え、細かな部分まで彫刻します。斧で割った跡を残す円空らしさは、まだ見られません。しかし、細い目、笑いを浮かべた口は、生涯を通じた円空仏にみられる特徴です。



木目に 注目!

重文
成島毘沙門堂の
伝吉祥天立像

平安時代・9世紀 岩手・成島毘沙門堂蔵
画像提供:東北歴史博物館

瞑想しているような目、ふくよかな頬、整った山の形をした唇、ゆったりとした肩の曲線。東北の仏像の中で、最も美しい作品といっても言い過ぎではありません。ほぼ左右相称にあらわれた木目の美しさも見逃せません。人がつくった美と自然の美の両方が備わっています。

| 開催概要 | 主催:東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社/後援:文化庁、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県/協賛:大伸社/協力:あいおいニッセイ同和損害保険/観覧料金:一般1,000円(900円)、大学生700円(600円)、高校生400円(300円)*()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料/お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600/展覧会公式ホームページ:http://michinoku2015.jp/



修理前

瓦礫と収蔵品が渾然となった状況下から救出されました。



修理後のリードオルガン

三省堂機械標本部製造
明治～大正時代・20世紀
岩手・陸前高田市立博物館蔵

部品を点検しながら刷毛や筆で汚れを取り除き、リードなど金属部分の錆は丁寧に除去しました。過去の修理痕は尊重して温存し、部品の取り替えは最小限に留めて再生を図りました。

修理後の青い目の人形

アメリカ 20世紀
岩手・陸前高田市立気仙小学校蔵

気仙小学校から流出した金庫の中から泥にまみれた状態で見つかりました。顕微鏡を覗きながら砂一つひとつをピンセットで取り除いた後、アルコールで湿らせた布で丁寧に汚れを拭き取りました。新たな傷は歴史をくぐり抜けた証として、過度な修復は敢えて避けています。



関連イベント

ミニ講演会&ギャラリートーク「被災現場からの報告」【当日受付】

【ミニ講演会】

日時:1月31日(土) 13:30～14:30

会場:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師:赤沼英男(岩手県立博物館学芸第2課長)、

前田浩二(陸上自衛隊富士学校機甲科部車両生徒班長)

定員:120名(当日受付、先着順)

【ギャラリートーク】

日時:1月31日(土) 14:50～15:30

会場:本館特別2室

講師:熊谷賢(陸前高田市立博物館副主幹)、神庭信幸(当館保存修復課長)

*どちらも参加無料(ただし、当日の入館料が必要です)

シンポジウム「文化を守る絆ー津波被災文化財再生への挑戦ー」【当日受付】

日時:3月11日(水) 10:00～15:00 会場:東京文化財研究所セミナー室

*会場は当館内ではございませんのでご注意ください。

記念講演会講師:京極夏彦

定員:110名(当日受付、先着順) 聴講無料

お問合せ:日本博物館協会 03-3591-7190

オルガン演奏会

大津波の被害に遭ったリードオルガンの、修復後の音色をお楽しみいただけます。

日時:1月31日(土)、2月21日(土)、3月14日(土)

各日とも11:00～、13:00～、16:00～の1日3回

会場:本館大階段

演奏:中村由利子(1月31日)、相田南穂子(2月21日)、伊藤園子(3月14日)

無料(ただし、当日の入館料が必要です)

| 開催概要 | 主催:東京国立博物館、津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会/観覧料金:総合文化展の料金をご覧ください *障がい者とその介護者1名は無料/お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

特別展

文化財レスキューの取り組みをご紹介します 「3・11大津波と文化財の再生」

東日本大震災で被災した文化財の、再生への取り組みをテーマにした本展覧会。今回は、展示される文化財のなかから2作品をピックアップし、修復時のポイントを紹介します。

本館
特別2室・特別4室

1月14日(水)

3月15日(日)

神像に注目!



けいこういん
恵光院の
じょしんざぞう
女神坐像

鎌倉時代・12～13世紀 青森・恵光院蔵



仏像ではなく、地域に根ざして信仰された神の像です。中年の女性をイメージしてつくられているようです。ふくよかな顔には、暖かい人柄が表われています。頭からすっぽりと衣をかぶる姿は、雪をよけ、寒さを防ぐ東北の女性をうつつたのかもしれない。



表情に注目!

重文
こくせきじ
黒石寺の
やくしにょらいざぞう
薬師如来坐像

平安時代・貞観4年(862)
岩手・黒石寺蔵



うねるような線をえがきながら、目尻がつり上がります。肩が張って、体を後ろに反らします。厳しく、威厳ある姿です。東北地方の仏像は、仏であるとともにその地で信仰されてきた神でもあるといわれます。この厳しい表情は、その神のイメージを反映しているのかもしれない。



© Indian Museum, Kolkata

仏坐像

アヒチャトラー出土 クシャーン朝・1世紀頃
コルカタ・インド博物館蔵

お釈迦さまが亡くなってから数百年がたって、紀元後1世紀頃クシャーン朝という王朝がインドを支配した時代に、ようやく仏像が作られるようになりました。マトウラーの最も古いタイプの仏像は、みずみずしい肉体をもった青年のような姿が特徴です。



© Indian Museum, Kolkata

摩利支天立像

ビハール出土 パーラ朝・11世紀頃
コルカタ・インド博物館蔵

インド仏教では5~6世紀頃に密教が生まれます。密教ではヒンドゥー教の影響を受けて顔や手がたくさんある像が作られるようになりました。摩利支天は顔が3つ、腕が8本あります。敵から姿をくらませるといふ力があると信じられ、日本でも信仰を集めました。

特別展
コルカタ・インド博物館所蔵

インドの仏像

仏教美術の源流

アジア有数の規模、
コルカタ・インド博物館から、
インド仏教美術の至宝が
急遽来日!

表慶館

3月17日(火)

5月17日(日)

トータルに古代インド仏教美術の代表作が集まります。
仏像っていつてきたの? 何で顔や手がいっぱいあるの?
そんな疑問も一気に解決の展覧会です。

インド仏像大使に、あの2人が!

芸能界きっての仏像好きで知られる、みうらじゅんさん、いとうせいこうさんが、「インド仏像大使」に就任されました。展覧会を応援してくれる力強い味方です。



開催概要 | 主催:東京国立博物館、インド政府文化省、コルカタ・インド博物館、インド大使館、日本経済新聞社、BSジャパン/協賛:双日、野崎印刷紙業、みずほ銀行、三井物産/協力:エア インディア/観覧料金:一般1,400円(1,200円/1,100円)、大学生1,000円(800円/700円)、高校生800円(600円/500円)* ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料 *前売券は2015年1月17日(土)~3月16日(月)、正門チケット売場(窓口、開館日のみ)ほか主要プレイガイド、コンビニエンスストアにて販売/お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600 /展覧会関連サイト:http://www.nikkei-events.jp/art/india/

関連イベント

①記念講演会「インドの仏—古代初期から密教まで」事前申込制

日時:4月11日(土)13:30~15:00(13:00開場予定) 会場:平成館大講堂
講師:小泉恵英(当館企画課長) 定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

②「親子で体験!インド式計算」講座 事前申込制

日時:3月27日(金)10:00~11:00、14:00~15:00(各回30分前開場予定)
会場:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース) 講師:加々木勝久(お茶の水女子大学附属中学校副校長)
定員:各回10組(事前申込制、応募者多数の場合は抽選) 対象:小学校4~6年生とその保護者

①②ともに参加・聴講無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望するイベントの番号(①・②)・②は午前か午後の希望時間を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申し込みください。

申込先:〒150-8551 東京都渋谷区渋谷1-3-9 東海堂渋谷ビル3F

ユース・プランニングセンター内「インドの仏」(希望するイベントの番号①・②)係

*①は1枚のはがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

*②は参加児童の氏名と学年、保護者の氏名を明記してください。

申込締切:① 2月23日(月)、② 2月16日(月)必着

関連イベント

記念講演会 事前申込制

- ① 5月2日(土) 13:30~15:00
「鳥獣戯画と高山寺ゆかりの至宝」 土屋貴裕(当館平常展調整室研究員)
- ② 5月16日(土) 13:30~15:00
「鳥獣人物戯画の修理」

岡岩太郎(岡墨光堂 代表取締役)、大山昭子(岡墨光堂 修復部長)

会場:平成館大講堂 定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望日、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申し込みください。

*1枚のはがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先:〒359-0014 埼玉県所沢市亀ヶ谷405-1 KKCビル「鳥獣戯画」記念講演会

(希望する講演会番号①・②のいずれか)係 申込締切:3月23日(月)必着

リレートーク 当日受付

- ① 5月1日(金)
14:00~14:15 「鳥獣人物戯画 甲巻」 土屋貴裕
14:15~14:45 「信仰に捧げた若き日の熱誠—国宝 仏眼仏母像と明恵上人—」
大原嘉豊(京都国立博物館主任研究員)

- ② 5月8日(金)
14:00~14:15 「鳥獣人物戯画 乙巻」 土屋貴裕
14:15~14:45 「故郷に残る明恵上人のおもかげ—仏画と仏像—」
大河内智之(和歌山県立博物館主査学芸員)

- ③ 5月15日(金)
14:00~14:15 「鳥獣人物戯画 丙巻」 土屋貴裕
14:15~14:45 「華嚴海会善知識受茶羅—明恵上人と華嚴教学—」
谷口耕生(奈良国立博物館保存修理指導室長)

- ④ 5月22日(金)
14:00~14:15 「鳥獣人物戯画 丁巻」 土屋貴裕
14:15~14:45 「仏師湛慶と動物彫刻」 浅淵毅(当館教育講座室長)

会場:平成館大講堂 定員:380名(当日受付、先着順)
聴講無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)

開催概要 | 主催:東京国立博物館、高山寺、朝日新聞社/特別協賛:高島屋/協賛:三井物産、凸版印刷/観覧料金:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)* ()内は前売料金/20名以上の団体料金。中学生以下無料*障がい者とその介護者1名は無料*前売券は2015年2月1日(日)~4月27日(月)、正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドにて販売/お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600 /展覧会公式ホームページ:http://chojugiga2015.jp/

*会期中一部展示作品、および展示場面の変更を行います。「鳥獣戯画」については、全4巻の各前半部分が前期(4月28日(火)~5月17日(日))、後半部分が後期(5月19日(火)~6月7日(日))に展示されます。

この春必見の鳥獣戯画展。この絵巻に高い関心が寄せられています。注目は本作ばかりではありません。鳥獣戯画の伝来した高山寺にはもうひとつの国宝絵巻、華嚴宗祖師絵伝が伝わりまします。高山寺中興の祖・明恵上人が慕った義湘、元暁という新羅僧の物語で、本展では前後期の展示替により全7巻を展示します。こんな機会はお見逃しなく。(土屋貴裕)



華嚴宗祖師絵伝 元暁絵 巻第二(部分)

鎌倉時代・13世紀 京都・高山寺蔵

*この場面は後期展示(5月19日(火)~6月7日(日))

王妃の病を治す方法を求め、龍宮を訪れた勅使。その鍵となる経典が濡れないよう、腰の中に入れて持ち帰ります



鳥獣戯画

京都
高山寺
の至宝

平成館

4月28日(火)

6月7日(日)

修理完了、ついにお披露目!

ひのき す びょう ぶ 国宝 檜図屏風

バンクオブアメリカ・メリルリンチ社の文化財保護プロジェクトからの助成金支援を受け、2012年10月から18ヵ月にわたる大修理を行った国宝「檜図屏風」がいよいよ公開されます。信長・秀吉にも重用された桃山画壇の第一人者、狩野永徳の傑作に、今回実施された修理とは? そして、修理過程で得られた新知見とは? 実際に見る前にポイントをチェックしておきましょう!

本館2室
(国宝室)

2月17日(火)

3月15日(日)

全面的な解体修理

絵具の剥落止め、本紙が裂けた部分の補強に加え、裏打紙や骨下地の新調など、根本的な安定を図る処置が行われました。ホコリなどでくすんでいた画面も明るくなりました。

原形を意識した現状変更

本来の襖絵から8曲1隻の屏風に仕立てられる段階で、絵柄にズレが生じ、本来の表現を損なっていました。今回の修理では原形の襖を意識した、4曲1双の屏風に改装しました。



●檜図屏風 狩野永徳筆
安土桃山時代・天正18年(1590)



修理時に発見された
五七桐文の痕跡



復元された唐紙

復元された唐紙

修理中の本紙裏面から五七桐文の痕跡を発見しました。調査の結果、八条宮家の別邸である桂離宮古書院の襖の文様と一致。本作は八条宮邸の襖絵であったといわれており、その証の一つと考えられます。宮内庁京都事務所のご協力により桂離宮の修理で使われた版木をお借りし、新規に唐紙を復元製作しました。



ありがとうシダレザクラ! また会う日まで!

シダレザクラ、しばしの別れ

悲しいお知らせがあります…

ユリノキと並ぶトーハクのシンボルツリーとして、毎年、満開の花で春を知らせてくれた本館前のシダレザクラですが、近年、樹勢に衰えが見え始め、一部に枯れが進んでいました。ここ数年は、専門家のアドバイスを受けながら樹勢回復の努力を進めてきました。



昭和44年(1969)に静岡県三島市にある国立遺伝学研究所から移植されました

うっうっ…シダレザクラさん…

しかしながら、力及ばず、やむなく現状での措置をあきらめ、2014年12月1日をもって伐採したうえで、今後の再生作業を進めることとなりました。

ぐすん。ぐすん。…もう…2度と会えないの?

ユリノキちゃん、そんなことはあらへんで!!

あなたは…トーハクの大江環境整備室長!!



いつかまた、花咲く日まで

シダレザクラ再生作業は、既に別の形で進行しています。伐採に先立って、将来の苗木とすべく親木から生えていた若い枝を採取、育成していたのです。



シダレザクラさんは生きてるのね!

そうです。今回の作業でその若木が元のシダレザクラの周囲と、少し離れたユリノキ付近の2カ所に移植されました。今後は育成状態の良いものを選び育てていく計画です。



植えられた苗木の様子。
元気に育ちますように…

満開のシダレザクラさんにまた会える?

…長い間トーハクを見守ってきた樹や、あせらんと、今度はゆっくり、われわれが見守ってあげる番やないかな? せやろ、ユリノキちゃん?

大江室長…!



新たなシダレザクラが満開の花を咲かせる日まで、皆様とともに、この苗木を大切に見守り育てていきたいと思います。



2/22 日 ◎**紺系威南蛮胴具足**
安土桃山時代・16世紀
胴はヨーロッパの甲冑を模倣して作られ、兜は舶載品の可能性があります

2/24 火 - 5/17 日

◎**黒章肩取威胴丸**
室町時代・15世紀
黒章を地の威とし、紅白の糸を用いて多様な威し方をみせる胴丸です

本館 ⑤ 室
武士の装い
— 平安～江戸



4 茶の美術

1/27 火 - 4/19 日
みみつちやいれ めい おだいりやう
耳付茶入 銘 於大名
美濃 江戸時代・17世紀
塩原千代氏寄贈
小堀遠州が八条宮智仁親王より拝領したと伝えられる茶入です。庭園の茶室、転合庵ゆかりの作品です



し の ちやわん めい はしひの
志野茶碗 銘 橋姫 美濃
安土桃山～江戸時代・16～17世紀
松永安左門氏寄贈
志野のなかでも古格で、堂々とした作風が存在感を放ちます



3 -3

3 禅と水墨画
— 鎌倉～室町

2/24 火 - 4/5 日

しきかちゆうずいぶうぶ
◎**四季花鳥図屏風**(部分)
伝雪舟等楊筆
室町時代・15世紀
鳥や樹木がほぼ実物大で描かれ、強い生命力を感じさせます



2/22 日

なんりんこくし きわんこうげ
南院国師忌拈香偈
清拙正澄筆 南北朝時代・延元2年(1337)
南禅寺の建立に力を尽くした南院国師を偈ぶ言葉が書かれています



3 -2

3 宮廷の美術
— 平安～室町

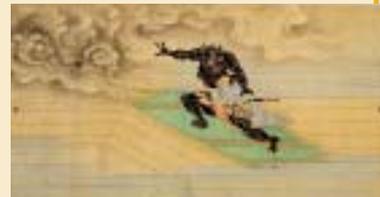
2/24 火 - 4/5 日

おいのさか
◎**おいのさか図**
鎌倉時代・14世紀
山登りと四季の樹木で人の一生を表わしています。満開の桜も見所の一つ



2/22 日

つなえまき
網絵巻(部分)
室町時代・16世紀
平安時代の武將、渡辺綱の鬼退治を描いた絵巻です



入口

本館 ①① 室
日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳

本館 ①② 室
仏教の興隆
— 飛鳥・奈良

本館 ② 室
国宝室

1 -1

1 日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳

5/10 日

さんかくいたびょうだめたんこう
三角板鋸留短甲 古墳時代・5～6世紀
福井県永平寺町松岡古墳跡
二本松山古墳出土
胴を守る鉄製武器。
鉄板を鋸で留める当時の最新技術を用いています



どうたく
銅鐻

弥生時代(後期)・1～3世紀
三重県伊賀市柏尾湯舟出土
当初の鳴り物としての機能を失い、華やかに飾りたてられた銅鐻です

1 -2

1 仏教の興隆
— 飛鳥・奈良

2/22 日

どうもくぼんざつみょうきょうしゅう きひのゆりがんぶ
◎**等目菩薩経巻中(吉備由利願経)**(部分)
奈良時代・天平神護2年(766) 反町英作氏寄贈
吉備真備の親族であった女官の由利が、称徳天皇の恩に報いるために書写させた一切経の一つです



4/5 日

きほりやえり
◎**響銅八重鏡**
奈良時代・8世紀
奈良時代に水などを盛った仏器で、一番大きな鏡に全部収めることができます



2

2 国宝室

2/17 火 - 3/15 日

くわんずびょうぶ
◎**繪図屏風** 狩野永徳筆
安土桃山時代・天正18年(1590)

1年半にも及ぶ大修理を経た姿と、修理過程で得られた新発見をご紹介します



3/17 火 - 4/12 日

かかゆうらくずびょうぶ
◎**花下遊楽図屏風**→本誌2ページ参照

2/24 火 - 4/5 日

てんくさうし
◎**天狗草紙**
(東寺・醍醐寺巻)(部分)
鎌倉時代・13世紀
醍醐寺桜会の童舞。
満開の桜に稚児の衣装の青や緑が映えるとても美しい場面です



7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

1/27 火
3/8 日

蘭亭曲水図屏風(部分) 与謝蕪村筆
江戸時代・明和3年(1766)
王羲之が催した曲水の宴。小川に浮かべた鶴(杯)が流れ去る前に詩を詠むのがルールです



3/10 火 — 4/19 日

桜山吹図屏風(部分)
依屋宗達筆
江戸時代・17世紀
田沢房太郎氏寄贈
春の花々が咲き誇る絵に和歌を記した色紙を貼って彩りを加えています



5

6

2/22 日 ◎刀 無銘 元重
長船元重 南北朝時代・14世紀
徳川家康の次男・結城秀康の指科で、華やかな朱塗の拵とともに展示します

武士の装い — 平安～江戸



◎朱漆打刀(◎刀 無銘 元重の拵)
安土桃山～江戸時代・16～17世紀

本館 7 室
屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸



本館 6 室
武士の装い
— 平安～江戸

8 - 1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

2/22 日



群鶴蒔絵硯箱
江戸時代・18世紀
松永安左工門氏寄贈
千年生きるという鶴が群れをなす、おめでたい図柄です

2/24 火 — 4/19 日

枝垂桜蒔絵案
江戸時代・17世紀
広田松繁氏寄贈
枝葉が巧みに配置され、一本の枝垂桜の木が器表を覆うようなデザインです



瓢形酒入
船田一琴作
江戸時代・天保14年(1843)
いかにも装剣金工らしい、精巧な技で飾られた酒入です

本館 8-1 室
暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

8 - 2

書画の展開 — 安土桃山・江戸

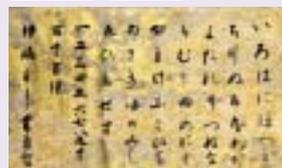
1/27 火 — 3/8 日

月ヶ瀬探梅図巻 巻下(部分)
金井烏洲筆 江戸時代・天保4年(1833)
中島伊平(六代目)氏寄贈
梅林で有名な月ヶ瀬(奈良県名張川沿い)。春の溪谷に光あふれる穏やかな景観です



一行書「明月満前川」
池大雅筆 江戸時代・18世紀
久世民榮氏寄贈
文人画家として著名な池大雅は、書にも優れ、変幻自在で独特な書風の作品を残しました

3/10 火 — 4/19 日



調度手本(色葉并詩歌等)
昭高院澄筆
安土桃山～江戸時代・17世紀
金銀を散らした装飾料紙に書かれた書の手本(調度手本)です



桜に春草図
尾形乾山筆
江戸時代・18世紀
山本富子・山本賢二氏寄贈
斜めになったり、自由に置かれた和歌の文字は、まるで絵の一部のよう

2/24 火 — 4/19 日

能と歌舞伎
桜の意匠を表わした江戸時代末期の歌舞伎衣装を中心に展示します。



1/27 火 — 3/15 日

能「舟弁慶」に合わせて、江戸時代を中心とした面・装束を紹介し、唐織 紅茶白段青海波貝尽模様 江戸時代・18世紀 貝をデザインした珍しい唐織です

振袖 紅縮緬地桜流水模様
江戸時代・19世紀 高木キヨウ氏寄贈
[本朝二四孝]の八重垣姫の役に使用したと伝えられています

3/17 火 — 5/17 日

桜の意匠を表わした江戸時代末期の歌舞伎衣装を中心に展示します。



【衣装】 1/27 火 — 3/15 日

桃の節供に合わせて、女性の婚衣装や晴着を中心に展示します。
打掛 白綸子地松竹梅鶴亀模様
江戸時代・19世紀
江戸時代後期の武家女性が婚装に着用する典型的なデザインです



3/17 火 — 5/17 日

春に合わせ、桜・桐・牡丹・藤など春に咲く花の模様を中心に展示します。
小袖 白綸子地又手網模様
江戸時代・17世紀
動きのあるデザインが魅力的な又手網模様の衣装です



10 浮世絵と衣装 — 江戸 【浮世絵】

1/27 火 — 2/15 日

東都名所 亀戸天満宮境内雪
歌川広重筆
江戸時代・19世紀
高橋寧氏寄贈
亀戸天満宮に静かに雪が降り積もっています



2/17 火

3/15 日

歌川国芳の小特集です。武者絵、戯画、風景画や美人画など多彩な作品を展示します。



讀岐院春風をして為朝をすくふ図
歌川国芳筆 江戸時代・19世紀
3枚続のワイド画面に力強さあふれる国芳の代表作です

3/17 火

4/12 日

桜の描かれたさまざまな浮世絵版画と肉筆浮世絵を展示します。
→本誌3ページ参照

総合文化展 見どころ案内
本館 2 階
[2月03月]
日本美
縄文から江
ほんものでた
必見



本館 日本に出会う

本館特別 ①室

展覧会以外の活動にもご注目！

特集「東京国立博物館 コレクションの保存と修理」

2月17日(火)～3月15日(日)

当館では、展示室や収蔵庫の環境整備を行い、文化財をより安定した状態で公開・収蔵できるよう、軽微なものから解体を伴うものまで状況に応じた修理を行っています。

この特集では、修理を終えたさまざまな分野の作品を、修理のポイントや工程、その過程で得られた情報をまとめたパネルなどとともに展示します。修理で得られた過去の修理の痕跡や、構造・材質・技法などに関する知見は作品をより深く理解する上でも貴重です。今回は国宝室での檜図屏風のお披露目(本誌7ページ参照)とも連動しています。トピック満載の展示をお楽しみください。(沖松健次郎)



青花龍文大皿 中国 景德鎮窯
明時代・嘉靖年間(1522~66)
横河民輔氏寄贈
外面に「大明嘉靖年製」銘のある貴重な
作例。大きく割れていた箇所を接合し、
安全に展示できるようにしました



四季山水図(夏) 雪舟等楊筆 室町時代・15世紀
雪舟が明に滞在中に描いた作品。各幅の折れや色味の
バラつきなどが抑えられ、鑑賞性が回復しました

本館 ①室 日本美術のあけぼの

埴輪といえはまずこの作品

埴輪 踊る人々

2月3日(火)～4月5日(日)



埴輪 踊る人々
古墳時代・6世紀
埼玉県熊谷市野原字
宮脇 野原古墳出土
ユニークな表情と
ポーズで想像力をか
きたてる、トーハクく
んのモデルです

独特な表現とポーズの半身像です。左は男子で小さな上げ美豆良と腰に鎌を着け、右は女子とも考えられています。他に同様な表現の埴輪が2体以上出土しており「兄弟」の存在(一)も知られています。人物埴輪は半身像と少数の全身像があり、髪型と服装で男女が区別されます。上着とズボン・スカートのツーピースは、4～5世紀頃に伝来した北方騎馬民族の胡服が起原です。この2体は残念ながら下半部が復原で、片腕を挙げた半身像と鎌の表現が一致する馬飼人形埴輪説も有力ですが、独創的で魅力的な造形であることは確かでしょう。(古谷毅)

本館 ⑩室 浮世絵と衣装

お待たせしました!
歌川国芳、勢ぞろい

金魚づくし

2月17日(火)～3月15日(日)

歌川国芳(1797～1861)は、自由な発想と反骨精神によって、幕末の江戸庶民の人気を集めた浮世絵師。近年では、グラフィックデザイナーとしての評価も加え、世界的にも注目されています。出世作となった「通俗水滸伝豪傑百八人の壹人」や諷刺精神により笑いを生み出す役者似顔絵「荷宝蔵壁のむだ書」、擬人化された金魚が楽しい「金魚づくし」、洋風表現を取り入れた風景画、独創的で力感あふれる武者絵、さらには粹な姿の女性を描いた団扇絵など、国芳の力量と発想力をお楽しみください。(田沢裕賢)



(左)金魚づくし・玉や玉や
(右)金魚づくし・百ものがたり
歌川国芳筆 江戸時代・19世紀
金魚の姿が愛情を込めて描かれています

本館 ⑭室

趣向を凝らした造形を楽しむ

特集「水滴の美 — 潜淵コレクションの精華 —」

～4月5日(日)



重丸瓶形瑞花文七宝水滴
江戸時代・18世紀
渡邊豊太郎氏・渡邊誠之氏寄贈
ヒョウタン形が愛らしい、稀少な七宝の水滴です

硯で墨をする際の水を入れる小さな器が「水滴」です。毛筆の文化圏においては重要な文房具のひとつで、さまざまな材質を用い、形態や意匠に趣向をこらしたものが作られました。昨年、当館に一括して寄贈された「潜淵コレクション」の金属製水滴は、渡邊豊太郎(潜淵)氏と息子息の誠之氏が収集したもので、質・量ともに日本を代表する水滴コレクションといえるでしょう。本特集ではその中から138件を展示し、金属製水滴の多彩な内容と豊かな造形表現をお楽しみいただきます。(伊藤信二)

法隆寺宝物館

宝物に浸る

東洋館

アジアを旅する

東洋館
5室
「中国の陶磁」

若き青山二郎を選んだ名品の数々

「横河コレクション」

「『甌香譜』の世界」

4月5日(日)

東洋陶磁コレクションの寄贈者、横河民輔(1864～1945)生誕150年を記念して、今年度東洋館5室では3期にわたって横河コレクションの名品を紹介しています。

3期目のテーマは、昭和6年(1931)に刊行された『甌香譜』。これは、稀代の目利きとして知られた装丁家の青山二郎(1901～1979)編纂に

よる横河コレクション中国陶磁名品図録です。青山は後漢から清時代まで各時代を象徴する名品を選び抜きました。30歳を迎えたばかりの若き青山の鋭く磨かれた鑑識眼を通して、珠玉の中国陶磁をどうぞご堪能ください。(三笠景子)



白釉鉄絵牡丹文瓶

中国・磁州窯
金時代・12～13世紀
横河民輔氏寄贈
青山二郎が魅了した磁州窯の酒瓶。細い胴を覆うように、牡丹がのびやかに描かれています

東洋館
8室
「中国の絵画」

模倣から生まれる芸術

「倣古と模倣」

1月27日(火)～2月22日(日)

中国絵画では、古代の作品に学び、その精神を継承する、「倣古」が尊ばれてきました。この展示では、五代・北宋の画家である董源や巨然に倣う作品などを中心に展示します。またこのような倣古作品は、美術市場の発展に従って美しい模倣をも生み出してい



きます。水野家旧蔵の王翬による見事な「江山無尽画卷」は、紫禁城の後方地区で制作された模倣である「後門造」に類似するものです。中国文化における倣古の造形をお楽しみください。(塚本磨充)

臨范寛秋山行旅図 王者佐筆
中国 清時代・康熙55年(1716)
五代・北宋の大画家・范寛「谿山行旅図」に倣う作品です

法隆寺宝物館 第2室

三者三様、材質でみる風土の違い

観音菩薩立像

4月12日(日)

仏像は、その材質を通して信仰された風土も感じることができます。たとえば、法隆寺宝物館で展示中の金銅仏と呼ばれる銅製の仏像は、高度な鑄造技術が必要



観音菩薩立像

飛鳥時代・7世紀
小金銅仏の優品。金色に輝く姿と金属特有の細かでやわらかな表現が見どころです

では、仏教が伝来した当時の日本ではたいへん貴重なものでした。一方、本館特別5室で開催中の特別展「みちのくの仏像」(本誌4ページ参照)の仏像はすべて木製。豊かな森林に恵まれる日本ならではの選択です。また、3月17日(火)から表慶館で開催の特別展「インドの仏」(本誌6ページ参照)に展示される仏像の多くが石製なのは、良質な石材を産出する土地だからこそ。ぜひそれぞれ見比べてみてください(西木政統)

法隆寺宝物館 第5室

古様な水瓶の貴重なコレクション

浄瓶

4月12日(日)

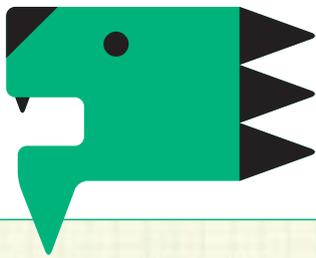
法隆寺献納宝物の中には、たいへん古い様式を示す水瓶が数多く伝わっています。水をたたえる胴部の形はいくつかの形式に分けられ、強く肩方が張つ



浄瓶

飛鳥～奈良時代・7～8世紀
古様な水瓶がずらりと並んだ様子は圧巻!ぜひ法隆寺宝物館でご覧あれ

たものや、卵形のものなどがあります。中でもこの水瓶は、丸い胴と注ぎ口、首の先端の尖台(飲み口)など、仙蓋形と呼ばれる形式です。冴えた金色を放っています。これは銅に錫を4対1で混ぜた合金を溶かして鑄造したのち、過熱する「佐波理」(響銅)の特色。轆轤で成形して仕上げられており、薄造りのシャープな姿も魅力です。(伊藤信二)



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業

PART 1

知る楽しみ、学ぶ喜び 講座・講演会・解説

講演会

月例講演会「平成の大修理を終えた国宝・檜図屏風」

*関連展示:本誌7ページ
日時:2月21日(土) 13:30~15:00
講師:神庭信幸(保存修復課長)・田沢裕賀(絵画・彫刻室長)
18カ月にわたる大修理を終えた檜図屏風。豪華華麗な姿を取り戻した檜図の魅力、修理過程での新発見を交えてお話しします。

へーせーの
ダイニチャーリって
なにしたんたほ?



月例講演会「保存の道を探求して」

日時:3月14日(土) 13:30~15:00
講師:神庭信幸(保存修復課長)
博物館が保管する貴重な文化財を安全に公開し、そして継続する術。30余年にわたって探求し、辿り着いた結論「臨床保存学」についてお話しします。

*会場は東京文化財研究所セミナー室、定員110名(先着順)、聴講無料(ただし当館の入館券が必要。半券でも可)
*開場は開始の30分前予定

ギャラリートーク

旗をなびかせた新羅の馬

日時:2月3日(火) 14:00~14:30 東洋館10室
講師:白井克也(考古室長)
韓国の梁山夫婦塚で出土した寄生(蛇行状鉄器)の使い方を解説し、新羅の高貴な人が乗った馬の姿に迫ります。

どういう使い方を
していたもの
なのかしら?

寄生
三国時代(新羅)・
6世紀初頭
韓国梁山夫婦塚出土
展示期間:
~4月5日(日) 東洋館10室



重文 紺糸威 南蛮胴具足

日時:2月10日(火) 14:00~14:30 本館5室
講師:池田宏(上席研究員)
安土桃山時代に伝わり、家康をはじめとする武将の間に広まったヨーロッパスタイルの甲冑、南蛮胴具足について解説します。

檜図屏風と平成の大修理

日時:2月17日(火) ①14:00~14:30、②14:30~15:00
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
①永徳一門による檜図
講師:山下善也(絵画・彫刻室主任研究員)
檜図は旧八条宮家御殿の障壁画主要部分だったと目されます。この絢爛豪華な大作から、桃山文化の息吹きと永徳最晩年の激しい造形を体感します。
②檜図屏風平成の大修理
講師:神庭信幸(保存修復課長)
国宝の修理としては珍しい現状変更によって、檜図屏風は8曲1隻から4曲1双に変わりました。そこに至る経緯と交わされた議論を紹介いたします。
*関連展示:本誌7ページ

絵画・書跡修理の現場から

日時:2月24日(火) 14:00~14:30 本館特別1室
講師:沖松健次郎(保存修復室主任研究員)
今回出品される絵画・書跡の修理上のポイントや、修理過程でわかったさまざまな情報、修理技術について解説します。
*関連展示:本誌10ページ

予防保存と修理保存

日時:3月3日(火) 14:00~14:30 本館17室
講師:和田浩(環境保存室長)
本館17室の展示内容をよりわかりやすく解説します。

ホクのクッキーの
保存方法も教えて
欲しいほ



愛染明王の事と、その修理前後

日時:3月10日(火) 14:00~14:30 本館11室
講師:鷲塚麻季(調査研究課主任研究員)
近年行われた、状態安定のための保存手当てを含めて、この像の魅力を紹介いたします。

中国江南の文化都市・南京の書画の魅力

日時:3月17日(火) 14:00~14:30 東洋館8室
講師:塚本磨充(東洋室研究員)
六朝の昔から明末清初を経て、近代に至るまで、中国の書画文化の中心のひとつであった南京の歴史と文化についてお話しします。



◎保寧寺賦跋
馮子振筆 古林清茂跋
中国 元時代・泰定4年(1327)
展示期間:2月24日(火)
~4月12日(日) 東洋館8室

黒田記念館へ行こう

日時:3月24日(火) 14:00~14:30 黒田記念館セミナー室
講師:木下史青(デザイン室長)
1月2日にリニューアルオープンした黒田記念館の展示デザイン・LED照明のひみつをご案内します。

桜ギャラリートーク 国宝 花下遊楽図屏風について

日時:3月31日(火) 14:00~14:30
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師:田沢裕賀(絵画・彫刻室長)
花下遊楽図屏風には、不可解な表現が数多く見られます。光学的調査と美術史の観点から、その不思議について考えてみましょう。
*関連展示:本誌2ページ

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク

ひび割れたうつわ

日程:2月1日(日)・2月5日(木)・2月10日(火)・2月12日(木)
各回15:30~15:50
場所:東洋館10室 集合場所:東洋館1階エントランス
解説者:菅沢そわか(美術研究科芸術学工芸史専攻)
なぜ、ひび(貫入)の入ったやきものが宋時代につくられ、愛されたのか。当時の文人の価値観などを紹介し、ひびの入ったやきものが愛された理由を考えます。

近代日本彫刻としての佐藤朝山「シャクンタラ姫とドウシャンタ王」

日程:2月3日(火)・2月8日(日)
各回15:30~15:50
場所:本館18室
集合場所:本館1階エントランス
解説者:山崎泰行(美術研究科日本・東洋美術史専攻)
近代日本の特殊な時代背景や、作者・佐藤朝山の人間性、作品の主題や造形に着目し、近代日本彫刻の中の「シャクンタラ姫とドウシャンタ王」について解説します。



シャクンタラ姫とドウシャンタ王
佐藤朝山作 大正5年(1916)
展示期間:~3月15日(日)
本館18室

ART
3

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき]

アートスタジオ

「桜の根付作り」

本館10室と高円宮コレクションの根付を見学した後、粘土を加工して桜をテーマにオリジナルの根付を制作します。完成品はお持ち帰りいただけます。

日時：3月22日(日) 13:30~15:30

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：高校生以上

定員：20名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、大学生以上は当日の入館料が必要)

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名、ふりがな、(2)参加者全員の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所を必ず明記してください)、(3)代表者の電話番号、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

※1枚のはがきで、2名まで申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「3月22日桜の根付作り」係

申込締切：2月16日(月) 必着



自分だけの根付作りにチャレンジ!

*「東洋館シアター」とは、東洋館TNM&TOPPANミュージアムシアターのことで、

*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。TEL:03-3822-1111(代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

ART
2

五感を使った美術体験

ワークショップ・見学ツアー

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

桜ファミリーワークショップ

「ふれて納得! 茶の湯の茶碗」

日本の伝統文化、茶道に使うお茶碗。トーハクの茶室で、いろいろな手ざわりや大きさのお茶碗にふれて、お茶を飲んでみましょう。最後は鑑賞したお茶碗に銘(名前)をつけます。お茶碗の見方が変わるかも!?

※収蔵品のお茶碗には触りません。

日時：3月21日(土・祝) ①10:00~12:00、②15:00~17:00

会場：本館展示室、九条館

対象：小学生とその保護者

定員：①②ともに10組(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申し込みください。

申込締切：①②ともに3月5日(木) 必着

※インターネットからのお申し込みができない方は、お電話でお問い合わせください。

TEL: 03-3822-1111(代) 教育普及室



志野茶碗 銘 橋姫
美濃 安土桃山~江戸時代・16~17世紀
松永安左衛門氏寄贈
展示期間:1月27日(火)~4月19日(日)
本館4室

事前申込制 [往復はがき]

見学ツアー

「保存と修理の現場へ行こう」

文化財の保存と修理についての解説および修理室等の見学ツアーを行います。本館展示室内での解説や刀剣や書画の修理室をご案内します。

日時：①3月5日(木) 14:00~16:10 ②3月6日(金) 14:00~16:10

定員：①②ともに20名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要)

申込方法：往復はがきでお申し込みください。「往信用裏面」に(1)氏名、ふりがな、(2)郵便番号・住所、(3)電話番号、(4)希望の回(①・②のいずれか)を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

※1枚のはがきで①②どちらか一方、1名申込可。

申込締切：①②ともに2月2日(月) 必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館教育講座室「保存ツアー」係

1000年後の未来にバトンタッチ!

写真アルバムの保存

保存と修理情報

27

東京国立博物館に多くの貴重な写真アルバムがあるのはご存知でしょうか。本館15室でも展示されている当館の写真アルバムコレクションには重要な文化財も含まれており、一部はインターネットでも公開されています。約140年の時を重ねた写真アルバムは他の美術工芸品と同じく劣化しており、保存にも同様の注意を払わねばなりません。コレクションにはいろいろな材料を用いた和洋の形態の写真アルバムが混在しているため、保存方法も一筋縄ではいきませんが、それぞれの形態に合わせた最善の保存方法が選択されています。



◎旧江戸城写真帖

蛸川式胤編、
横山松三郎撮影、
高橋由一着色
明治4年(1871)
展示は未定

江戸時代の面影を残す明治初期の日本を記録した貴重な写真が未永く見られるように、更に適した保存方法の模索を行っています。

保存方法についての意見交換を行いました。

ます。昨秋にはアメリカ合衆国デラウェア大学から写真保存の世界的権威である Debra Hess Norris 氏をお招きして研究会を催し、欧米の状況をうかがいながら当館における保存方法についての意見交換を行いました。



資料を閲覧する Debra Hess Norris 氏(右から2人目)

東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2015-

春の恒例、「ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.22 ~ 26」を今年も開催します。

- ① 東博でバッハ vol.22 安田謙一郎 (チェロ)**
日時:3月17日(火) 開演19:00 開場18:30
曲目:J.S. バッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007 ほか
- ② 東博でバッハ vol.23 松尾俊介 (ギター)**
日時:3月26日(木) 開演19:00 開場18:30
曲目:J.S. バッハ:リユート組曲 ト短調 BWV995 ほか
- ③ 東博でバッハ vol.24 戸田弥生 (ヴァイオリン)**
日時:4月1日(水) 開演19:00 開場18:30
曲目:J.S. バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番 ト短調 BWV1001 ほか
- ④ 東博でバッハ vol.25 フランチェスコ・トリスターノ (ピアノ)**
日時:4月3日(金) 開演19:00 開場18:30
曲目:J.S. バッハ:フランス組曲 第1番 ニ短調 BWV812 ほか
- ⑤ 東博でバッハ vol.26 安田謙一郎 (チェロ)**
日時:4月8日(水) 開演19:00 開場18:30
曲目:J.S. バッハ:無伴奏チェロ組曲 第2番 ニ短調 BWV1008 ほか



©Aymeric Giraudel

会場:①②③⑤法隆寺宝物館エントランスホール ④平成館ラウンジ
料金:各回3,600円(全席自由)

<チケットのお求め方法>

東京・春・音楽祭 <http://www.tokyo-harusai.com/>
東京・春・音楽祭チケットサービス 03-3322-9966 ほか
主催:東京・春・音楽祭実行委員会 共催:東京国立博物館
お問合せ:東京・春・音楽祭実行委員会 TEL 03-5205-6497

平成館・表慶館を休館します

展示環境整備およびリニューアル工事のため、下記の展示館を一時休館します。

平成館:~2015年4月以降、順次開館
[リニューアル工事のため]
*平成館考古展示室の一部作品は、本館1室にて展示されています。

表慶館:当面の間 [展示環境整備のため]
*特別展・催し物開催時は開館します。

黒田記念館がリニューアルオープン

耐震工事のため2012年4月から休館していた黒田記念館が、1月2日(金)にリニューアルオープンしました。黒田清輝の主要作品を展示する特別室(年3回、期間限定公開)が新設されたほか、黒田記念室では原則6週間ごとに展示替えをし、黒田の画業を紹介します。

観覧料金:無料
開館時間:9:30~17:00(入館は閉館の30分前まで)
休館日:月曜日(祝日・休日の場合は開館、翌火曜日休館)
*開館時間・休館日は時期により変動あり。東京国立博物館に準ずる
<2015年度 特別室公開日>
3月23日(月)~4月5日(日)、10月27日(火)~11月8日(日)

東京国立博物館ウェブサイトのスマートフォン版を公開

2014年12月、当館ウェブサイトのスマートフォン版が公開されました。スマートフォンでも見やすく、操作しやすい画面構成となりました。トップから「本日の展示・催し物」へ簡単にアクセスできますので、お出かけ先でも当日の展示やイベントの情報を気軽にチェックいただけます。ぜひご利用ください。

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

- ◎年会費
 - 〈団体〉プレミアム会員 1000万円以上
 - 特別会員 100万円(1口)
 - 維持会員 20万円
 - 〈個人〉プレミアム会員 100万円以上
 - 特別会員 20万円/維持会員 5万円

- ◎主な特典
 - 特別展の内覧会にご招待
 - 東京国立博物館ニュースの送付
- ◎申込方法
 - 当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込で随時受け付けています。
- ◎お問合せ
 - 東京国立博物館総務部 賛助会担当
 - 電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2014年12月25日現在

特別会員 団体

日本建設工業株式会社 様	凸版印刷株式会社 様
株式会社 コア 様	ブルガリ ジャパン株式会社 様
大日本印刷株式会社 様	公益財団法人 東芝国際交流財団 様
毎日新聞社 様	株式会社 東京美術 様
株式会社 大林組 様	日本ロッキス株式会社 様
朝日新聞社 様	サロン・ド・ソネット 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様	株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様	株式会社 東芝 様
読売新聞社 様	株式会社 みずほ銀行 様
三菱商事株式会社 様	一般財団法人 東京国立博物館協力会 様

個人

プレミアム会員	中川 俊光 様	古屋 光夫 様	友泉 紀子 様	坂詰 貴司 様	会田 健一 様	要 英範 様	山田 浩一 様	新保 幸男 様	嶋 晃秀 様	高橋 薫 様	岩瀬 郵史 様
岩間 良孝 様	関谷 徳衛 様	根田 穂美子 様	東野 治之 様	吉田 靖 様	桐岡 政義 様	樽本 英信 様	笹森 美子 様	山田 伊知郎 様	藤本 勝司 様	清田 志郎 様	青木 瑞枝 様
特別会員	高橋 守 様	松本 澄子 様	竹下 佳宏 様	松本 雅彦 様	相良 多恵子 様	本條 陽子 様	高橋 明子 様	中野 俊介 様	高山 真行 様	松橋 優 様	川上 陽子 様
	小澤 桂一 様	是常 博 様	野澤 智子 様	篠田 喜弘 様	館谷 勝昌 様	西原 賢一 様	村井 明美 様	手塚 真由美 様	渡辺 婦美 様	宮川 寛子 様	福代 咲山 様
	辻 泰二 様	上久保のり子 様	上野 孝一 様	坂田 浩一 様	片山 正紀 様	安田 格 様	久保田 哲暁 様	井出 宗則 様	鈴木 深泉 様	佐野 淑子 様	竹内 明生 様
	比 政彦 様	柳田 良豊 様	北山 喜立 様	池谷 正夫 様	伊藤 喜雄 様	原田 清朗 様	土屋 和彦 様	土屋 慶彦 様	今村 正 様	中村 政憲 様	平田 泰之 様
	田中 将介 様	長谷川 英樹 様	山田 泰子 様	脇 素一郎 様	井上 雄吉 様	筑紫 みづえ 様	星 八郎 様	碓田 榮一 様	李 雲莉 様	中村 光宏 様	梅澤 舞鳳 様
	堀内 洋志 様	池田 孝一 様	野口 知子 様	秦 芳彦 様	大森 雅子 様	尾山 玲 様	星 弘道 様	加納 卓人 様	福田 扶美 様	小野 透 様	羽石 史生 様
	維持会員	木村 剛 様	柴田 陸子 様	木谷 駿一郎 様	細川 一夫 様	鳥崎 昌鶴 様	熊谷 潤子 様	林 和人 様	福武 正廣 様	菅野 良子 様	笠原 勉 様
		観世 あすか 様	絹村 安代 様	高梨 兵左衛門 様	錦織 伸一 様	倉片 康雄 様	西永 義久 様	清水 透石 様	江幡 真史 様	中田 公人 様	長瀬 正行 様
		木村 則子 様	岡田 博子 様	渡久地 ツル子 様	鈴木 幸一 様	栗山 哲夫 様	田中 節山 様	持田 卓人 様	竹内 和世 様	中島 米治郎 様	武井 伸之 様
		高木 聖鶴 様	渡辺 章 様	汐崎 浩正 様	福井 一夫 様	大川 権翁 様	高木 聖雨 様	野本 陽代 様	岡野 一昭 様	田中 久丸 様	前田 寿子 様
		伊藤 信彦 様	福垣 哲行 様	堤 勝代 様	土師 詔三 様	梅本 聖 様	田浦 宏己 様	福田 倫子 様	伊藤 彰信 様	神田 靖男 様	高木 紘司 様
		数内 匡人 様	帖佐 誠 様	平井 千恵子 様	塚 達次 様	榎本 晋世 様	山中 翠谷 様	佐藤 芙蓉 様	小林 浩和 様	森本 晃生 様	小川 恭子 様
		服部 悦子 様	飯岡 雄一 様	川澄 祐輔 様	鎌田 幸子 様	青山 慶子 様	荒木 章 様	青山 慶子 様	加藤 正叙 様	田中 三伊 様	前田 寿子 様
		岩 正美 様	峯村 協成 様	永久 幸範 様	高橋 静雄 様	岡田 良雄 様	福岡 裕 様	谷内 英一 様	蔵口 真理 様	清原 真里 様	黒河 英後 様
		高田 朝子 様	牧 美也子 様	五十嵐 良和 様	田中 千秋 様	岡部 和加子 様	関口 大志 様	杭治 柏樹 様	田中 文雄 様	角田 保行 様	鈴木 健之 様
		齋藤 孝子 様	高瀬 正樹 様	石川 公子 様	小西 晴也 様	師田 久子 様	柳村 尚 様	福川 コウ 様	宮下 雅博 様	平尾 佳湖 様	岩本 みら子 様
		齋藤 邦裕 様	坂井 俊彦 様	青山 千代 様	清水 勉 様	鈴木 春朝 様	井茂 洞洞 様	樋口 頼一 様	川上 宗雪 様	水野 佳和 様	廣瀬 敬章 様
		和 田 喜美子 様	寺浦 信之 様	藤崎 英喜 様	仙石 哲朗 様	谷川 紀彦 様	高味 良信 様	吉永 喜代子 様	一川 毅彦 様	谷口 敏枝 様	永野 剛志 様
		佐々木 芳絵 様	高木 美華子 様	永田 実香 様	田中 望 様	山口 隆司 様	廣田 穰 様	長嶋 益子 様	田代 雅彦 様	三浦 基広 様	堀川 佳津美 様
		藤原 紀男 様	吉原 知良 様	西岡 康宏 様	三井 達雄 様	原一 要子 様	杉山 泰規 様	富山 仁美 様	中村 伸夫 様	金光 真佐一 様	ほか83名2社、県不

文化財防災ネットワーク推進事業の取組みについて

2014年10月21日に文化財防災ネットワーク構築の必要性和今後の課題について共通理解を得ることを目的として、文化財の防災に関する関係団体を構成員とする「第1回文化遺産防災ネットワーク推進会議」を開催しました。また、同年12月に本事業のため採用した職員向けの文化財防災関連研修や、上野消防署員への文化財取扱講習を行いました。3月には仙台で行われる第3回国連防災世界会議において「文化財防災」をテーマとしたシンポジウムを東京及び仙台で行う予定です。

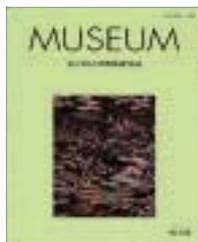
資料館より「シーボルト旧蔵本」の修理及びデジタル化による公開事業について

今年度資料館では図書館振興財団から助成金をいただき、「シーボルト旧蔵本」を永く活用するための修理とデジタル化を行っています。修理にあたっては、蔵書の情報を失わないよう「対症修理」(現状維持のための最小限度の手当)を行い、保存用の箱を作製します。修理の詳細について、画像を交えた簡単な説明と進捗状況の中間報告(PDF)を当館ウェブサイトで公開していますのでご覧ください。



『MUSEUM』653号(2014年12月22日発行)の掲載論文

- ①「歌川国芳「源頼光公館土蜘蛛妖怪図」における図像と構想の源泉をめぐって」
曾田めぐみ(大阪大学大学院文学研究科/日本学術振興会特別研究員)
 - ②「御所解模様」に関する一考察—その概念と実態—
鈴木理子(当館特別展室)
- 定価:1,543円(税込)
お問合せ:当館ミュージアムショップ または
中央公論事業出版(電話03-3535-1321)



TNM & TOPPANミュージアムシアター

- 『国宝 檜図屏風と狩野永徳』～4月26日(日)
狩野派随一の天才と称される狩野永徳。彼の作品は戦火と共に多く失われましたが、「檜図屏風」は数少ない永徳筆の貴重な作品です。永徳がこの絵を描くまでの人生、そして平成の大修理で甦った檜図屏風をバーチャルリアリティでじっくりとご堪能ください。 *関連展示:本誌7ページ
- 『洛中洛外図屏風と岩佐又兵衛』 2月4日(水)～4月26日(日)
戦国時代から江戸時代へ。岩佐又兵衛が想像を交えて描いた京都には、力がものをいう時代から法が定める時代へと移り変わる瞬間が切り取られています。数奇な運命に翻弄された奇才の絵師、岩佐又兵衛の人物像を紐解くとともに、又兵衛が描いた洛中洛外の世界に迫ります。
料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)
*総合文化展とセット購入で一般:1000円/大学生800円
*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
*詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL <http://www.toppan-vr.jp/ml/>



特別展「コルカタ・インド博物館所蔵 インドの仏教美術の源流」チケットプレゼント

本誌6ページでご紹介した特別展「コルカタ・インド博物館所蔵 インドの仏教美術の源流」(3月17日(火)～5月17日(日))のご招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は3月23日(月)必着。
*プレゼントの応募方法はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢ならびにこの号で一番おもしろかったページ・記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。
〒110-8712 台東区上野公園13-9
東京国立博物館 広報室「ニュース2・3月号」プレゼント係



東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 3月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで開館。

休館日:

月曜日(祝日・休日に当たる場合は開館、翌火曜日休館)、2015年3月23日(月)、30日(月)は特別開館。

総合文化展観覧料金

一般=620(520)円
大学生=410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

東京国立博物館ニュースの定期購読

年間(6冊分)を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベーシックと同時申し込みで100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。

*次号よりご送付希望の場合、締切は3月10日(火)です。

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

発行日から1年間有効

年会費 10,300円

*継続入会(パスポート・ベーシックを含む)の場合は9,800円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券(12枚)の配布、そのほか本誌の定期郵送など様々な特典があります。

パスポート

発行日から1年間有効

一般 4,100円

29歳以下 3,000円

学生 2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

ベーシック

発行日から1年間有効

一般 1,500円

29歳以下 1,100円

学生 900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

◎お問合せ

電話03-3822-1111(代)友の会・パスポート担当
FAX03-3821-9680

*各種イベントのお申込に際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

▶各種お申込みは当館窓口・ウェブサイトまたは郵便振替で

[ウェブサイト]

申込フォームよりお申し込みください。クレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

[郵便振替でのお申込]

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期間終了まで保管しておいてください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

- 振替用紙には申込区分(新規・継続)を記入し、[継続]の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

東京国立博物館ニュースの定期購読&パスポート・ベーシック

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号00140-1-668060

- パスポート・ベーシックの申し込みの場合、振替用紙に申込区分([パスポート・ベーシック][一般・29歳以下・学生])を記入し、[29歳以下]・[学生]の方は、年齢のわかる身分証明証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

1日	考 14:30 藝「ひび割れたうつわ」 15:30 東洋館 10室	特別展「3.11 大津波と文化財の再生」	特別展「みちのくの仏像」
2月	休館日		
3日	G「旗をなびかせた新羅の馬」14:00 東洋館 10室 建 11:00 藝「近代日本彫刻としての佐藤朝山『シャクンタラ姫とドウシャンタ王』」15:30 本館 18室		
4日			
5日	藝「ひび割れたうつわ」15:30 東洋館 10室		
6日	法 15:00		
7日	樹 13:30 本 14:00		
8日	近 13:00 浮 14:00 藝「近代日本彫刻としての佐藤朝山『シャクンタラ姫とドウシャンタ王』」15:30 本館 18室		
9日	休館日		
10日	G「重文 紺糸威南蛮胴具足」14:00 本館 5室 藝「ひび割れたうつわ」15:30 東洋館 10室		
11日	樹 13:30		
12日	庭 14:00 本 14:00 藝「ひび割れたうつわ」15:30 東洋館 10室		
13日	英 14:00		
14日	浮 11:00 陶 14:30		
15日	英 11:00 東 11:00 浮 14:00 考 14:30		
16日	休館日		
17日	G「檜図屏風と平成の大修理」14:00 本館地下教育普及スペース		
18日			
19日	彫 11:00、15:00		
20日			
21日	講「平成の大修理を終えた国宝・檜図屏風」13:30 東京文化財研究所セミナー室 【再生】オルガン演奏会 11:00、13:00、16:00 本館大階段 建 11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00		
22日	彫 11:00 庭 14:00 浮 14:00 考 14:30		
23日	休館日		
24日	G「絵画・書跡修理の現場から」14:00 本館特別1室		
25日			
26日	本 14:00		
27日			
28日	刃 13:00 陶 14:30		

1日	考 14:30		
2月	休館日		
3日	G「予防保存と修理保存」14:00 本館 17室 建 11:00		
4日			
5日	見学ツアー「保存と修理の現場へ行こう」14:00 *1		
6日	夜間開館 (20:00まで) 見学ツアー「保存と修理の現場へ行こう」14:00 *1 法 15:00		
7日	樹 13:30 本 14:00		
8日	近 13:00 浮 14:00		
9日	休館日		
10日	G「愛染明王の事と、その修理前後」14:00 本館 11室		
11日	【再生】シンポジウム「文化を守る絆—津波被災文化財再生への挑戦—」10:00 東京文化財研究所セミナー室 樹 13:30		
12日	庭 14:00 本 14:00		
13日	夜間開館 (20:00まで) 英 14:00		
14日	講「保存の道を探求して」13:30 東京文化財研究所セミナー室 【再生】オルガン演奏会 11:00、13:00、16:00 本館大階段 浮 11:00 陶 14:30		
15日	英 11:00 東 11:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30		
16日	休館日		
17日	G「中国江南の文化都市・南京の書画の魅力」14:00 東洋館8室 小東博でパッハ vol.22 19:00 法隆寺宝物館エントランスホール*2	特別展「インドの仏教美術の源流」	特別展「みちのくの仏像」
18日	G「屏風に描かれた桜」14:00 本館 7室		
19日	♪桜の街の音楽会 11:00 正門内池前 彫 11:00、15:00		
20日	夜間開館 (20:00まで)		
21日	桜ファミリーワークショップ「ふれて納得！茶の湯の茶碗」10:00、15:00 九条館*1 建 11:00 (手話通訳付) 樹 13:30 本 14:00 法 15:00		
22日	彫 11:00 作 13:30 *1 庭 14:00 考 14:30		
23日	特別開館		黒田記念館特別室公開
24日	G「黒田記念館へ行こう」14:00 黒田記念館セミナー室 ♪桜の街の音楽会 13:00 法隆寺宝物館エントランスホール		
25日	G「着物に描かれた桜」14:00 本館地下教育普及スペース 樹 13:30		
26日	彫 11:00 庭 14:00 本 14:00 小東博でパッハ vol.23 19:00 法隆寺宝物館エントランスホール*2		
27日	夜間開館 (20:00まで) 【印度】「親子で体験！インド式計算講座」10:00、14:00 本館地下教育普及スペース		
28日	桜ぬりえ 11:00～16:00 本館 2階ラウンジ 建 11:00 本 12:00 刃 13:00 陶 14:30 法 15:10		
29日	桜ぬりえ 11:00～16:00 本館 2階ラウンジ 東 11:00 茶 11:00、12:30 庭 14:00 浮 14:00		
30日	特別開館		
31日	G「国宝 花下遊楽図屏風について」14:00 本館地下教育普及スペース (4/5まで) (4/19まで) (4/12まで) (5/17まで) (4/5まで)		

【再生】＝特別展「3.11 大津波と文化財の再生」関連事業。詳細は本誌5ページ
 【印度】＝特別展「インドの仏教美術の源流」関連事業。詳細は本誌6ページ
 ♪＝「博物館でお花見を」関連事業。詳細は本誌2～3ページ
 *1 事前申込制。詳細は本誌13ページ
 *2 有料イベント。詳細は本誌14ページ

講＝月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展関連事業については、当該ページ)
 G＝ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
 ♪＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス
 浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所：本館1階エントランス
 陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所：本館1階エントランス
 彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス
 樹＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館1階エントランス
 考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：本館1階エントランス集合(本館1室をご案内します)
 法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館1階エントランス
 庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所：本館1階エントランス(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

茶＝ボランティアによる応挙館での茶会(2月は休止します)、集合場所：本館1階エントランス(参加費500円、先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
 ※3/29の桜茶会は事前申込制(詳細は本誌3ページ)
 英＝ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所：本館1階エントランス
 ♪＝ボランティアによるたての散歩ツアー、集合場所：本館1階エントランス
 近＝ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所：本館1階エントランス
 刃＝ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所：本館1階エントランス
 東＝ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所：東洋館1階エントランス
 作＝ボランティアによる子どもたちのアートスタジオ・アートスタジオ 事前申込制(詳細は本誌13ページ)
 庭＝藝大インテーンによるギャラリートーク、詳細は本誌12ページ